

## 鳥取市議会総務企画委員会会議録

会議年月日	令和4年2月28日（月曜日）		
開 会	午前10時27分	閉 会	午前10時56分
場 所	市役所本庁舎7階 全員協議会室		
出席委員 （8名）	委員長 吉野 恭介 副委員長 伊藤 幾子 委 員 加嶋 辰史、石田憲太郎、星見 健蔵、横山 明 秋山 智博、砂田 典男		
欠席委員	なし		
委員外議員	なし		
事務局職員	主査兼議事係長 毛利 元 調査係主事 福田 佳菜		
出席説明員	<b>【市民生活部】</b> 市民生活部長 鹿田 哲生 次長兼地域振興課長 漆原 利明 地域振興課課長補佐 山名 常裕 協働推進課長 谷口 恭子 市民総合相談課長 大島 義典 市 民 課 長 西垣 隆司 <b>【環境局】</b> 環境局長兼生活環境課長 国森加津恵 生活環境課課長補佐 坂本 清美 廃棄物対策課長 上田 光徳		
傍 聴 者	なし		
会議に付した事件	別紙のとおり		

午前10時27分 開会

### 【市民生活部】

◆吉野恭介委員長 皆さん、おはようございます。

（ ） おはようございます。

◆吉野恭介委員長 それでは、ただいまから、総務企画委員会を開会いたします。本日の日程でございますが、市民生活部のうち、生活環境課の所管に関する部分の先議分の説明、質疑、討論、採決、続いて、令和4年度当初予算の説明という流れとしております。令和4年度当初予算につきましては、予算審査特別委員会での審査となっておりますので、委員長の宣告により、配付のレジユメのとおり、総務企画委員会と予算審査特別委員会総務企画分科会の切替えを行いますので、御承知ください。なお、質疑及び説明、答弁は、簡潔にさせていただきますよう、執行部及び委員の皆様をお願いいたします。

◆吉野恭介委員長 それでは、まず初めに、鹿田部長に御挨拶をいただきたいと思います。

○鹿田哲生市民生活部長 委員長。

◆吉野恭介委員長 はい、鹿田市民生活部長。

○鹿田哲生市民生活部長 はい。市民生活部長、鹿田哲生でございます。先週25日に、引き続きの委員会開催、誠にありがとうございます。委員長から御紹介、御案内がございましたとおり、本日は先週金曜日の委員会で御説明ができなかった議案第23号一般会計の補正予算でございます。生活環境課に関する部分と、あと、29号の墓苑事業の特別会計、35号の電気事業特別会計、この3つの議案について御説明申し上げ、質疑をいただくといったようなことになっております。しっかりと御説明さしあげます。どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

◆吉野恭介委員長 はい。ありがとうございました。

議案第23号令和3年度鳥取市一般会計補正予算のうち所管に属する部分（説明・質疑・討論・採決）

◆吉野恭介委員長 それでは、先議分の審査に早速入ります。議案第23号令和3年度鳥取市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管に属する部分の説明をお願いいたします。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 委員長。

◆吉野恭介委員長 国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 そうしましたら、令和3年度鳥取市一般会計補正予算（第15号）の生活環境課に関する部分につきまして説明申し上げます。この一般会計補正予算につきましては、決算見込みによる増減でございまして、特に大きく増減するものはございませんので、説明のほうは省かせていただきたいと思います。続きまして。すみません。一般会計ですけれども、大変失礼いたしました。はい。生活環境課、7ページでございます。生活環境費等、公害対策費と、あと、火葬場及び墓地費とを計上しておりますけれども、全ての費目におきましては、決算見込み、入札等による減額ですとか、そういった決算見込みによる減額が主な理由となっております。以上でございます。

◆吉野恭介委員長 はい。以上で、説明をいただきました。

それでは、議案質疑に入ります。議案第23号令和3年度鳥取市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管に属する部分の質疑を行います。本案について、委員の皆様から質疑はございますか。

◆加嶋辰史委員 はい。

◆吉野恭介委員長 加嶋委員。

◆加嶋辰史委員 はい。そうしましたら、御説明いただいたところで、細かくいくのも恐縮ではあるんですけども、せっかくですので質問をさせていただきたいと思います。湖山池浄化対策費ですね、資料は8ページ、上から2段目ですか、実績見込みによる減というところですけども、これについては、国・県支出金も減額となっているんですけども、これもその入札減なのか、実績、湖山池がきれいになってるから、1割以上の減額になったのか、そうじゃなくて、

入札業者が単純に1割以上低い額で入札されたのか、その詳細をお尋ねいたします。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい、委員長。

◆吉野恭介委員長 はい、国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい。湖山池浄化対策費につきましては、巡視員のパトロールですとか、あと、水質調査ですとか、モニタリング等を行っております。はい。そういった調査費の入札減の部分と、あと、市民の活動としまして、アダプト・プログラム制度を利用しました清掃作業ですとか、あと、市民活動の事業としまして、アダプト・プログラム事業として実施しております事業の1つです、ひょうたん島に関する事業が取りやめになりましたので、そういった減額によるものとなっております。以上でございます。

◆吉野恭介委員長 はい。そのほか質疑ありますか。

◆伊藤幾子副委員長 はい。

◆吉野恭介委員長 はい、伊藤副委員長。

◆伊藤幾子副委員長 7ページの環境基本計画推進費のところなんですけれども、エネルギー管理講習の受講による負担金の増ってあるんですけれども、そもそも、こういう講習を受けないといけない理由といたしますか、その中身と、なぜ、この負担金の増なのかということをお願いします。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい、委員長。

◆吉野恭介委員長 国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい。省エネ法に基づきまして、年間の排出量3,000キロリットルの排出量のある事業所につきましては、管理者、エネルギー管理者等の設置が義務づけられておりますので、その関係の費用です。実際、管理者、設置しております、3年に1度更新業務がありまして、このたびの1万7,000円の増額は、その更新による講習料によるものでございます。

◆吉野恭介委員長 伊藤副委員長。

◆伊藤幾子副委員長 はい。中身は分かりました。補正で増額補正っていうのは、この3年に1度の更新っていうものが、当初に、想定されてなかったのか、それとも、何かの都合で補正になったのかはどうでしょうか。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい。

◆吉野恭介委員長 国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい。お答えいたします。当初は予定しておりませんでした。3年を迎えるということで案内がありまして、そういった更新業務というところで、補正で上げさせていただいたところです。ちなみに、この補正、更新業務はオンライン講習となっておりますので、受講料のみとなっております。

◆吉野恭介委員長 はい、伊藤副委員長。

◆伊藤幾子副委員長 分かりました。それについては分かりました。もう一つ、すみません。8ページの一番上のところのね、石綿含有建材調査者講習受講に伴う旅費の増ってということで、8万7,000円が上がってるんですけれども、これも必要な講習だと思うんですけれども、この

2月補正で増になってる理由をお聞かせください。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 委員長。

◆吉野恭介委員長 国森環境局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 この石綿業務につきましては、法改正によりまして、来年、この令和4年4月から届出の強化が図られるようになります。そういった部分もありまして、事前に講習を受講するものでございます。

◆吉野恭介委員長 伊藤副委員長。

◆伊藤幾子副委員長 ということは、令和4年4月から届出の強化があるってということなんですけども、令和3年度の当初予算を組んだときには、それが分かってなくて、そのときには、その講習は想定されてなかったということでしょうか。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい、委員長。

◆吉野恭介委員長 国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい。お答えいたします。当初は見積ってなかった研修でございます。

◆吉野恭介委員長 伊藤副委員長。

◆伊藤幾子副委員長 はい。先ほどの分は、3年に1度の更新だったんですけど、この石綿のこの講習というのは、何かそういうような回数とか、そういったものがあるんでしょうか。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい、委員長。

◆吉野恭介委員長 国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 特に、このたびの法改正による講習会ですので、特にこれを更新するような研修では、はい、ございません。

◆伊藤幾子副委員長 はい。

◆吉野恭介委員長 伊藤副委員長。

◆伊藤幾子副委員長 はい。分かりました。業務をする上で必要な研修だったり、そういう講習会っていうのは、当初予算立てるときに想定ができるのは、やっぱり最初から入れておいたほうがいいかなと思います。補正で対応する場合は、例えば、想定してた人、人数以上に行くだとか、何か本当に突発的なようなことが起きた場合のほうがいいのかなと思います。以上です。

◆吉野恭介委員長 そのほか質疑ございますか。はい。質疑なしと認め、質疑を終結いたします。討論はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介委員長 はい。討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより、採決に入ります。議案第23号令和3年度鳥取市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管に属する部分を採決いたします。本案に賛成の方は、挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

◆吉野恭介委員長 はい。挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

議案第29号令和3年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算（説明・質疑・討論・採決）

◆吉野恭介委員長 続きまして、議案第29号令和3年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算の説明をお願いいたします。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい、委員長。

◆吉野恭介委員長 国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい。そうしましたら、生活環境課所管になります、特別会計、墓苑事業費特別会計の説明をさせていただきます。資料のほう、14ページでございます。あと、所属別事業一覧は83ページとなります。

墓苑費の第二いなば墓苑用地取得費でございます。389万2,000円の減でございます。こちらの内容でございますが、第二いなば墓苑の造成に関しましては、永代使用料、収入の85%を用地取得費として、鳥取市土地開発公社に償還しているところでございます。令和3年度の歳入見込みとしましては、当初66区画、3平米区画が42区画、5平米区画が24区画と見込んでおりましたが、決算見込みとしまして、3平米区画が28区画、5平米区画が24区画の52区画の見込みとなりまして、それぞれ14区画減ったことによるものでございます。歳入見込みが、457万8,000円減の2,223万6,000円となっております。この85%の部分の減額となっているところでございます。

続きまして、積立金でございます。723万2,000円の増額でございます。これにつきましては、市営駐車場、市営墓地、すみません、10か所内の第二いなば墓苑以外の墓苑において、当初予定していなかった末恒墓苑10区画、福部墓苑2区画など再募集を行いました。そのところ、245万9,000円の増額となったものです。この使用料等の費用から、墓地管理費を除いた剰余金62万6,000円と、前年度繰越金の660万6,000円を合わせて、723万2,000円を基金に積み立てるものでございます。基金につきましては、令和2年末、5,702万3,000円に対しまして、令和3年分として952万円を積立てといたしますので、3月末見込みとしましては、6,654万3,000円の予定となっております。以上でございます。

◆吉野恭介委員長 はい。説明をいただきました。

質疑に入ります。議案第29号令和3年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算のうち、本委員会の所管に属する部分の質疑を行います。本案について、委員の皆様から質疑はございますか。

◆星見健蔵委員 はい。

◆吉野恭介委員長 はい、星見委員。

◆星見健蔵委員 3年度の実績等々、お聞かせいただきました。42区画、2区画と24区画ということの66区画を見込んでおったところが、28区画と24区画ということで、52区画ということですね。この実績見ると、6割〜7割っていうのが実績の状況だというふうに思うわけですが、今この第二墓苑は、残りどの程度、区画が残されているのかということをお聞かせいただきたいと思います。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 委員長。

◆吉野恭介委員長 はい、国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい。お答えいたします。現在797区画、これは2月25日現在ですけれども、今残っている区画となっております。

◆吉野恭介委員長 星見委員。

◆星見健蔵委員 そう見ますとですね、まだ、それこそ年間で52区画っていうことになれば、まだ十数年かかるということになりますよね。それで、特に、もう最近は、墓地とかを永代供養とかに変えられて、墓じまいをされるっていうのが、非常に増えてきとるという状況があるんですが、そういった中で、早いこと、これはそれこそ使用を進めていくということが、これからの課題になってくるんじゃないかなというふうには思っております、もっとアピールですね、をして、市民の皆さんにとにかく利用していただけるような対策ということも、やっぱりもうちょっと大々的にやる必要があるんじゃないかなというふうに思います。

それから、墓地管理費です。土砂の撤去等、緊急対応に要する経費の増ということですが、これはどういう状況になっておって、それで、その対応で、一度に、対応によって、その山が崩れたとか、そういうことじゃないかなというふうに思うわけですが、それは、一度にもうその対応することで、その二度とそういったことが起きない状況に持っていったのかどうかということをお聞かせください。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 委員長。

◆吉野恭介委員長 国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい。お答えいたします。まず、広報等の取組等についてお答えいたします。この今、近年ですけども、墓地に関しては、様々なニーズ等、多様になってきている状況がございますけども、本市としまして、この第二いなば墓苑、29年から供用開始しております。こういった中で、今5年が経過したところですけども、令和3年度につきましては、新たにこういったリーフレットのほうを作成いたしました。航空写真等で、全体のそういう墓苑の姿っていうのを分かりやすくしたパンフレット等も作成しまして、因幡霊場ですとか、イオン鳥取店と、あと、市民課の辺りに置かせていただいております、こういったところでPRをしておりますし、鳥取市の公式LINE等で随時募集のお知らせをしたり、先日は、ラジオのほう、FM鳥取の深堀！トーク！ってというところでは、出演をして、墓地に関する呼びかけを、はい、したところでございます。

続きまして、墓苑管理費でございます。こちらの内容ですけれども、円護寺墓地におきまして、土砂の撤去等の緊急対応っていうことですけども、円護寺墓地に関しては、下がり水があったり、そういった土砂の関係がありまして、そういったところのブロック部分の破損の修繕ですとか、そういった修繕箇所の対応を行ったところでございます。はい。以上でございます。

◆吉野恭介委員長 星見委員。

◆星見健蔵委員 なかなか、さあ、その下がり水で、ブロック塀をどうのっていう、どういう状況かなって、頭の中にちょっと浮かんでこんわけですけども、近年、局地的な豪雨災害等ですね、線状降水帯だ何だって、100ミリを超えるような雨量でも頻繁に起きるような時代になってきとるわけですね。それが、鳥取において、通常二、三十ミリ程度で、100ミリも降るってことは、これまで経験したこともないと思うわけですが、そういった、やっぱりいつ何が起きるか分からんというのが、この状況ですので、昨今の、やっぱり20ミリ、30ミリの雨のによって、土砂が崩れたりというような状況であれば、それは想像を絶するような状況になる

んじゃないかなというふうに思うんで、そういったことが極力起きないように対応を、常日頃から対策を講じるということが重要じゃないかなというふうに思うわけですが、その点の将来的な方向性みたいなことは、どのように考えておられるのか、お聞かせください。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 委員長。

◆吉野恭介委員長 国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい。お答えいたします。墓苑につきましては、柵がないとか、そういったところもありますし、危険性がないような措置ですとか、あと、排水機能の改善と、あと景観の関係もございます。そういった安全性の改善も図るように、今後、はい、墓苑を管理していきたいと考えております。

◆吉野恭介委員長 はい。そのほか質疑ありますか。はい。質疑を終結いたします。討論はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介委員長 はい。討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより、議案第29号令和3年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算を採決いたします。本案に賛成の方は、挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

◆吉野恭介委員長 はい。挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

#### 議案第35号令和3年度鳥取市電気事業費特別会計補正予算（説明・質疑・討論・採決）

◆吉野恭介委員長 続きまして、議案第35号令和3年度鳥取市電気事業費特別会計補正予算の説明をお願いいたします。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 委員長。

◆吉野恭介委員長 国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい。そうしましたら、生活環境課所管のもう一つの特別会計でございます。電気事業費特別会計の説明をさせていただきます。資料のほう、15ページでございます。所属別事業一覧は92ページとなっております。こちらのほうでは、積立金につきまして、説明させていただきます。積立金は、今回の補正額、マイナスの67万8,000円としております。内容としまして、いかり原太陽光発電事業につきましては、売電収入など、歳入合計から、その維持管理費を除いた剰余金を、基金として、今積み立てているところでございます。昨年は、7月、9月の日照不足等がございまして、売電収入が、当初2,896万9,000円見込んでおりましたけども、206万2,000円減の2,690万7,000円の見込みとなりました。前年度決算額146万7,000円の繰越金と合わせまして、剰余金、剰余分が8万7,000円となりますので、67万8,000円を減額するものでございます。これによりまして、3月末の基金残高は、令和2年度末7,110万1,817円で、3月分の積立基金としまして8万7,000円。3月末の見込みとしましては、7,118万8,817円の予定でございます。以上でございます。

◆吉野恭介委員長 はい。御説明いただきました。

それでは、議案第35号令和3年度鳥取市電気事業費特別会計補正予算の質疑を行います。本

案について、委員の皆様から質疑はございますか。

◆伊藤幾子副委員長 はい。

◆吉野恭介委員長 伊藤副委員長。

◆伊藤幾子副委員長 7月、9月の日照不足っていう御説明だったんですけど、一応今年度の発電量の見込みと、あと、ちょっと昨年度の量も分かったらお願いします。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 委員長。

◆吉野恭介委員長 国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 はい。お答えいたします。電力量としましては、今年度見込みとしまして、61万1,526キロワットアワー、見込んでおります。昨年度は、64万9,498キロワットアワーでございました。はい。以上でございます。

◆伊藤幾子副委員長 いいです。

◆吉野恭介委員長 はい。そのほかございますか。はい。質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

討論はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介委員長 はい。討論なしと認め、これより、採決に入ります。議案第35号令和3年度鳥取市電気事業費特別会計補正予算を採決いたします。本案に賛成の方は、挙手をお願いいたします。

〔賛成者挙手〕

◆吉野恭介委員長 はい。挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

それでは、総務企画委員会をこれで終了し、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催いたします。切替えをお願いいたします。

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午前10時56分 閉会



# 令和4年2月定例会

## 総務企画委員会・予算審査特別委員会総務企画分科会

日時：令和4年2月28日（月）

本庁舎跡地等調査特別委員会終了後

場所：本庁舎7階全員協議会室

### 市民生活部

#### 《総務企画委員会》

#### ◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

議案第23号 令和3年度鳥取市一般会計補正予算（第15号）【所管に属する部分】

議案第29号 令和3年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算（第1号）

議案第35号 令和3年度鳥取市電気事業費特別会計補正予算（第1号）

#### 《予算審査特別委員会総務企画分科会》

#### ◎議案【予算審査分：説明】

議案第5号 令和4年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

議案第11号 令和4年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算

議案第17号 令和4年度鳥取市電気事業費特別会計予算